特定本邦航空運送事業者（※）に関する航空輸送サービスに係る情報公開（平成24年10～12月）のポイント

※特定本邦事業者

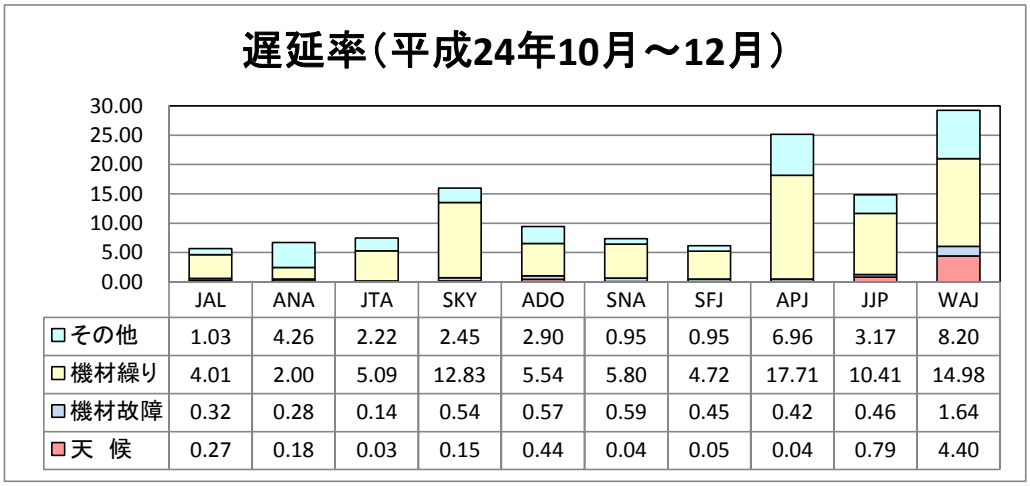
○日本航空:JAL（日本航空、ｼﾞｪｲｴｱ、ｼﾞｬﾙｴｸｽﾌﾟﾚｽ）
○全日本空輸:ANA（全日本空輸、ANAｳｲﾝｸﾞｽ）
○日本ﾄﾗﾝｽｵｰｼｬﾝ航空：JTA
○ｽｶｲﾏｰｸ：SKY
○AIRDO：ADO
○ｽｶｲﾈｯﾄｱｼﾞｱ航空：SNA
○ｽﾀｰﾌﾗｲﾔｰ：SFJ
○Peach Aviation:APJ
○ｼﾞｪｯﾄｽﾀｰ･ｼﾞｬﾊﾟﾝ:JJP
○ｴｱｱｼﾞｱ･ｼﾞｬﾊﾟﾝ：WAJ

１．輸送サービスの比較等に関する情報

（１）遅延率（平成24年10月～12月）

当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
7.88%	6.34%	1.54ポイント上昇

※備考「遅延便」とは、出発予定時刻より15分を超えて出発した便をいう。

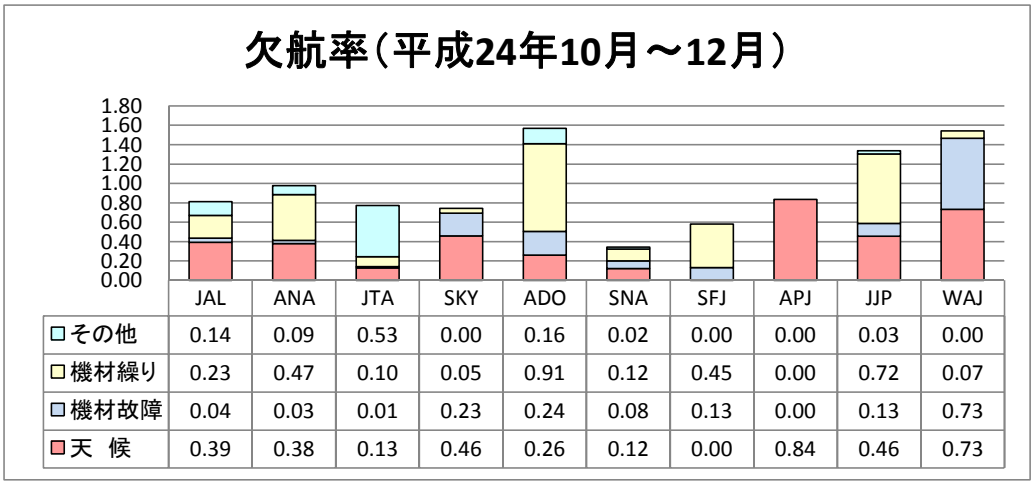


	JAL	ANA	JTA	SKY	ADO	SNA	SFJ	APJ	JJP	WAJ
その他	1.03	4.26	2.22	2.45	2.90	0.95	0.95	6.96	3.17	8.20
機材繰り	4.01	2.00	5.09	12.83	5.54	5.80	4.72	17.71	10.41	14.98
機材故障	0.32	0.28	0.14	0.54	0.57	0.59	0.45	0.42	0.46	1.64
天　候	0.27	0.18	0.03	0.15	0.44	0.04	0.05	0.04	0.79	4.40

※対象となっている路線が各航空会社によって異なっており、路線毎・季節毎に欠航・遅延の特性が異なることから、単純な比較には適さない。（夏期は沖縄路線等で台風の影響を受けやすく、冬季は北国等で積雪の影響を受けやすいなど。）

（２）欠航率（平成24年7月～9月）

当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
0.90%	0.68%	0.22ポイント上昇



	JAL	ANA	JTA	SKY	ADO	SNA	SFJ	APJ	JJP	WAJ
その他	0.14	0.09	0.53	0.00	0.16	0.02	0.00	0.00	0.03	0.00
機材繰り	0.23	0.47	0.10	0.05	0.91	0.12	0.45	0.00	0.72	0.07
機材故障	0.04	0.03	0.01	0.23	0.24	0.08	0.13	0.00	0.13	0.73
天　候	0.39	0.38	0.13	0.46	0.26	0.12	0.00	0.84	0.46	0.73

※対象となっている路線が各航空会社によって異なっており、路線毎・季節毎に欠航・遅延の特性が異なることから、単純な比較には適さない。（夏期は沖縄路線等で台風の影響を受けやすく、冬季は北国等で積雪の影響を受けやすいなど。）

２．運賃関連情報

（１）輸送実績（平成24年10月～12月）

項目	当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
平均搭乗区間距離	927km	915km	0.52%増
輸送人員	2149万9002人	2011万5981人	6.88%増
輸送人キロ	197億7443万人km	184億193万人km	7.46%増
旅客収入	3236億53百万円	3157億8百万円	2.52%増
輸送人員あたり旅客収入	15.1千円	15.7千円	4.11%減
輸送人キロあたり旅客収入	16.4円	17.2円	4.84%減

（２）路線別データ（平成24年10月～12月）

①旅客数

上位５路線は次のとおり。

１位	東京＝札幌	210万3793人
２位	東京＝福岡	203万5845人
３位	東京＝大阪	134万1913人
４位	東京＝那覇	130万8516人
５位	東京＝鹿児島	57万3497人
全　路　線		2126万2560人

②利用率

上位５路線は次のとおり。

１位	仙台＝那覇	79.9%
２位	東京＝神戸	79.5%
３位	大阪＝仙台	78.6%
４位	東京＝岩国	78.3%
４位	関西＝鹿児島	78.3%
全　路　線		64.7%

下位５路線は次のとおり。

１位	宮古＝石垣	17.9%
２位	東京＝大島	22.6%
３位	成田＝神戸	28.0%
４位	成田＝鹿児島	34.8%
５位	札幌＝紋別	35.1%
全　路　線		64.7%

３．フレックストラベラー制度（※）に関する情報

平成24年10～12月における、フレックストラベラー制度を有する航空会社又はグループの全輸送人員に対する不足座席数の割合（１万人あたり）が高かった上位３社は次のとおり。

（※）オーバーセールス（搭乗手続きに来た予約客の数が提供座席数を上回る結果、座席を提供できない予約客が発生すること）の発生が判明した時点で、自主的に搭乗を取りやめる旅客を航空会社が幅広く募集する。

		全輸送人員に対する不足座席数の割合（１万人あたり）	
		当期実績	前期実績
①	スターフライヤー	3.70人	1.07人
②	日本航空	1.84人	1.06人
③	全日本空輸	1.55人	1.38人
	全社平均	1.56人	1.19人